

明智地域自治区運営協議会だより

令和7年度第2回明智地域自治区運営協議会が9月26日（金）に明智振興事務所にて開催されました。内容は下記のとおりです。（出席委員数：運営協議会委員22名中19名、オブザーバー3名 傍聴者：1名）

1. あいさつ

【杉山会長】

・明日・明後日は「みのじのみのり祭り」です。秋のイベントシーズンの始まりにあたり、関係者の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

2. 協議事項

（1）第3次恵那市総合計画 明智地域計画の策定について

【事務局】

・資料「第3次恵那市総合計画 明智地域計画（案）」に基づき、町民アンケートの結果、各部会での協議内容及び策定案について説明。

【賑わい・若者部会 奥田部会長】

・本部会は若い世代も多く、率直な意見が多く出され、活発な議論が行われた。皆さんが明智について真剣に考えている様子が伝わってきた。言いつらい意見もあったが、それらも含めて、この計画案にしっかりと反映されている。

【郷土部会 佐々木部会長】

・郷土部会として、明智地域に対する真剣な意見が多く寄せられた。リニアやトヨタとの連携といった具体的な提案もあり、地域の可能性を感じている。貴重な意見を取りまとめていただき、感謝申し上げる。

【安心部会 松原部会長】

・デマンド交通、まちなか線の関係の意見も多く、さらに安心して暮らすにはどうしたらいいか、意見がたくさん出た。計画案は全体意見がうまくまとめられている。

【意見等】

・担い手が少ない。やらないことを決めることも大事。運営協議会のメンバーはこれからも率先していくことが重要。

・第4次・第5次も同様の取り組みが続く可能性がある。行政には、リニアを含む交通インフラ整備を求めたい。SL復活事業は北関東で失敗しており、クラウドファンディングでの実施が望ましい。明知鉄道の中津川延伸を希望する。「郷土の魅力と誇りを次世代へ」は、郷土部会でホームページを充実させ、情報発信を進めたい。

・日本全国同じ課題で取り組んでいる、明知鉄道沿いに「侍ウォーリア人形」を並べたり「アイスパビリオン」など奇抜な取り組みや、宿泊施設のウェブでの周知が必要。

【オブザーバー 大塩前副市長】

・「東濃鉄道明智線の存続」に関する事項、及び「大正村明智の森」の文字を追記してほしい。

⇒上記を追記することについて「承認」

【事務局】

・キャッチフレーズの選考については、各部会から提出された「候補」から投票で決定することになった。

・本日、承認いただいた「第3次恵那市総合計画 明智地域計画（案）」については、10月1日から10月31日までパブリックコメントを実施、ご意見がなければ決定となる。

⇒「第3次恵那市総合計画 明智地域計画（案）」を一部追記修正し「承認」

⇒キャッチフレーズは「安心して暮らせる、自然と便利が調和した暮らし」に「決定」

⇒パブリックコメントを実施することについて「承認」

3. 報告事項

【事務局】下記事項について報告

(1) 明智町新施設検討委員会について

- ・第1回検討委員会 7月22日（火）開催
- ・住民アンケート実施中（9月末締め切り）

(2) 明智中学校閉校記念事業実行委員会について

- ・実行委員会 2回・記念誌事業部会 3回・記念事業部会 4回

【記念誌事業部会 安藤部会長】

- ・記念誌に掲載する原稿を依頼し、完成に向け取り組んでいる。

【記念事業部会 佐々木部会長】

・住民アンケートの内容を踏まえ事業内容のたたき台ができている。今後さらに詳細内容を協議していく。
明智中学校を卒業された全ての方が主役、多くの方のご参加ご協力をお願いする。

【財務部会 杉山部会長】

- ・事業費が不足しており、寄附も現在5名のみです。寄附金のご支援をお願いする。

【意見等】

- ・記念事業（イベント）の日程は。

→確定ではないが、3月21日の市の閉校式典開催日及び前後を予定している。決まり次第周知する。

- ・寄附金はいつまで受け付けるか。

→記念事業実施まで受け付けます。

- ・受付場所が振興事務所のみとなっているので、何か方法を考えてはどうか。

→良い方法があればご提案をお願いする。

(3) 世界ラリー選手権・かえで祭りの開催について

- ・世界ラリー選手権 11月8日（土）恵那市SS→実行委員会 10/23（木）開催
※明智観戦エリア（峰山）・明智パブリックビューイング会場（明智文化センター）
- ・かえでまつり 11月16日（日）→実行委員会 10/17（金）開催

(4) まちづくり懇談会開催報告について

- ・令和7年7月30日（水）9:00～11:20 開催された懇談会での意見に対する市からの回答を説明。

【意見等】

・桔梗の会では、明知城の国指定を目指し、御陣屋周辺整備など取り組んでいる。明知城周辺の立木伐採について、指定前に伐採を行い、そのためのスケジュールを示してほしい。回答は納得できない。

【オブザーバー 大塩前副市長】

- ・数年前に伐採を行っている。場所を指定して市に依頼するとよい。

→指定前の伐採、スケジュールについて明確にしてほしいというご意見は文化課に伝えます。

(5) その他事業について

- ・【ご協力お礼】町内一斉清掃：8月23日（土）8:00～10:00 110名参加
- ・【ご協力お願い】花と木のまちづくり事業：10月26日（日）9:00～11:00
- ・【ご協力お願い】下が淵かえでライトアップ事業：設置 10月30日 16:00～
撤収 12月1日（月）8:30～
- ・【募集中】恵那市まちづくり活動補助金申請受付中（募集期間 10月31日（金）まで）

(6) 地域おこし協力隊について

- ・10月3日～24日までインターンを1名受け入れる。

5. 各種団体・委員さんからのご意見・情報交換

- ・社協支部事業においてデマンドバスの活用を検討したが、時間や場所の制約により使いづらい状況であった。市長にはバスの増車を要望したが、より柔軟に対応できる体制の整備が必要であると実感している。今後も地域のために粘り強く取り組んでいく。
- ・山本芳翠展をロマン館で開催している。昨年、岐阜県美術館で展示された大正村所蔵品が美しく修復され、現在展示されている。ぜひ足を運んで鑑賞してほしい。また、大正村では毎月第3土曜日にロマン館前の草取りなどの活動を行っている。美化活動への協力をお願いする。
- ・7月26日に魚つかみ体験を実施し、多くの方に参加いただき、賑やかに開催することができた。8月25日にはまいまいミーティングを開催し、活発な意見交換を行うことができた。イルミネーション設置事業では点灯イベントを予定しており、地域の皆様のご協力をお願いする。
- ・11月30日に紡ぐ舎で「寄って亭」を活用し、古民具と空き家を融合させたイベントを開催する。町外・市外からも飲食や物販での参加があり、広域からの関心が寄せられている。私たちができることは、明智の魅力を多くの人に伝えることであり、その思いを持って取り組んでいる。
- ・これからハイキングシーズンを迎え、10月から11月は海が最も美しく見える季節である。ぜひ、すわがねへの登山を楽しんでいただきたい。10月19日には吉田わくわくフェスティバルを開催するので、興味のある方はぜひ参加してほしい。
- ・山城の景観をより良くするために、周囲の木を伐採してほしい。
- ・商工会青年部として、みのじのみのり祭りに参加する。9月27日には中学校奉仕作業が行われる。10月16日には明智中学校最後の体育大会が開催されるので、ぜひ見学してほしい。12月13日にはイルミネーション事業にも参加し、積極的に活動している。
- ・10月25日に明智小学校の運動会を開催する。11月15日には資源回収を実施する。来年度から中学校が統合されるため、資源回収の実施方法については今後の検討課題となっている。
- ・9月3日に明智中学校で航空写真撮影を行った。10月16日には体育大会、11月16日にはかえで祭りが開催され、中学校3年生が体験ブースを企画して参加する。子どもたちと企画について話し合いを行い、全員が目を輝かせながら真剣に考えていた。
- ・消防団活動として、先日千畳敷で訓練を実施した。明智分団には現在85名が所属しているが、毎年約10名ずつ減少している状況である。消防団は74歳まで活動できるため、ご家族やご友人への積極的な声掛けをお願いする。
- ・平成5年に明智町の大正村で始まった「掃除に学ぶ会」を、明智中学校で継続してきたが、先日32年間の活動に幕を閉じた。中学生にとって貴重な学びの機会となった。10月16日には体育大会が開催され、生徒からの希望により、先生や保護者と一緒に取り組む閉校記念種目として綱引きを実施する。当日来場された方には、希望者に参加していただけるよう準備を進めているので、ぜひ見学に来てほしい。11月13日にはPTA研修会を開催し、元ヤクルト・日本代表選手として活躍された宮本慎也さんを講師として招く予定である。今年度は閉校の節目でもあるため、地域の皆様にも広く周知し、参加していただきたいと考えている。
- ・大正村駐車場入り口に、明知城への登城ルートや見どころを紹介する看板を設置した。10月3日に除幕式を開催するので、ぜひご来場いただきたい。現在、面白い内容のホームページを作成中であり、公開に向けて準備を進めている。完成を楽しみにしてほしい。

・花火大会の開催にあたり、ご協力いただきありがとうございました。先日、反省会を実施し、物価高の中での開催となったが、規模を縮小しながらも「良かった」との声をいただいた。今年は来場者のマナーに課題があり、今後の対応について検討していく必要がある。地域の皆様や企業の方々から協賛金をいただいているが、今後は収益化の仕組みづくりも進めていかなければならない。引き続き、皆様のご協力をお願いする。

・商工会としては、ラリーやかえで祭りの出店など、目の活動を着実に実施していく。基本方針としては、何かを削ってでも持続可能な形を目指す。例年通りという考え方は捨て、新しい取り組みを行う際には、何かを削ることを前提にしている。ただし、活動がマイナスにならないよう、常にプラスの視点で進めていく。かえで祭りでは、小学生を対象に、地域委員会が設営する店舗の「子ども店長」を募集しており、商売の大変さや楽しさを体験してもらう初の試みを行う。また、会場では中学校の校歌を流し、可能であれば合唱も実施する予定である。来場者にはOBの方も多いため、それに合わせた寄附活動も準備している。大きなイベントが続く時期であるため、参加者が疲弊しないよう工夫を凝らしながら、地域全体で取り組んでいく。

・中学校の閉校は、将来に向けて非常に大きな出来事である。アンケートでは、学校給食を地域の方が食べられないか、年配の方と子どもたちが触れ合える機会をつくれないうといった意見が寄せられている。Instagramを活用し、明智中学校の閉校式のプログラムや当日の様子を映像で発信できるような情報提供を進めていく必要がある。

・各務原から約30名の方がすわがねから下山され、地域を訪れてくださった。移住には至らなくても、地域の活動が関係人口の増加につながっていることを実感した。地域計画は、皆さんの活動のよりどころとなる重要な指針である。

【オブザーバー伊藤市議より】

・地域計画の策定にあたり、各部会で活発な意見が交わされたことは非常に良いことである。多様な立場から皆が真剣に取り組んでいるが、大きな成果に結びつけることは容易ではなく、困難を伴う。しかし、諦めずに継続することが何よりも重要である。恵那市内で平日に地図を持って歩く地域を考えると、岩村や恵那峡など限られており、意外にも少ない。これは、明智に可能性があることを示している。小さなチャンスを逃さず活かすことが鍵となる。明智に人を呼び込むためには、まず明智の魅力を創出することが必要である。加えて、明智を訪れたいと願う人々を受け入れる体制づくりが不可欠である。

【オブザーバー平林市議より】

・中学生とみらいを語る会では、子どもたちが考える明智の魅力として「お祭り」が挙げられた。お祭りは人と人との触れ合いであり、地域の絆を深める場である。串原、上矢作には若い地域おこし協力隊員が活動しており、若者の発想と力を尊重し、丁寧に育てていくことが重要である。各団体から多様な行事の紹介があったが、何を選び、どこで共に取り組むかを考えることが求められる。地域をどこで盛り上げていくかは、地域自治区運営協議会会議の場で明確に決定していく必要がある。

【オブザーバー大塩前副市長より】

・消防団員は74歳まで活動可能ということで、消防団に入る。

※「第3次恵那市総合計画 明智地域計画（案）」および「まちづくり懇談会開催報告」につきましては、下記の『明智地域自治区運営協議会公式HP まいまいあけち』にて公開しております。ぜひご確認ください。

問い合わせ先：明智地域自治区運営協議会事務局（明智振興事務所内）

☎0573-26-6862

まいまいあけち
maimai akechi



公式HP

